

うと市議会だより



編集 / 議会だより編集委員会

発行 / 宇土市議会 平成25年2月15日発行

宇土市浦田町51番地

TEL 0964-22-1111 FAX 0964-22-6313

<http://www.city.uto.kumamoto.jp>



目指せ!サッカーワールドカップ!!

宇土市出身で、サッカーU-19日本代表として活躍した植田直通選手が、鹿島アントラーズに入団しました。今後の更なる活躍が期待されます。

CONTENTS

P 2～ 4 平成24年第4回定例会(議案の主なもの)

P 5～10 一般質問(6人登壇)

P11～12 委員会報告

P13 議案・請願等の議決結果

P14 編集後記

平成24年 第4回定例会

第4回定例会を12月4日から12月19日まで、16日間の会期で開催しました。

市長提出議案として、宇土市一般職の任期付職員の採用等に関する条例の制定など条例関係8件、平成24年度一般会計補正予算など予算関係8件、宇土市教育委員会委員任命の人事案件2件、専決処分の報告及び承認2件、その他4件、議員提出議案として宇土市議会委員会条例の一部改正など4件が上程され、いずれも原案のとおり決定しました。

また、第3回定例会で、決算審査特別委員会に付託し、閉会中の継続審査としていました平成23年度の一般会計及び各特別会計の歳入歳出決算9件を認定しました。

議案の主な内容は下記のとおりです。なお、議決結果は13ページに、各常任委員会での審査内容は、11、12ページに記載しています。

専決処分

◆平成24年度宇土市一般会計補正予算(第5号)
歳入歳出それぞれ1,875万5千円増額し、総額を143億2,548万6千円とする。内容は、衆議院議員選挙費の増額補正。

条例

◆宇土市一般職の任期付職員の採用等に関する条例の制定

地方公共団体の一般職の任期付職員の採用に関する法律等の規定に基づき、地方公共団体の一般職の職員の任期を定めた採用及び任期を定めて採用された職員の給与の特例に関し必要な事項を定めるため、条例を制定するもの。

・施行日 公布の日

【主な制定内容】

・高度の専門的な知識経験若しくは優れた識見を有する者又は公務の能率的運営を確保するため必要である場合は、一定の期間任期を定めて採用することができる旨規定する。

・職員の任期は5年以内(更新する場合を含む。)とする。

・その他給料の特例について定める。

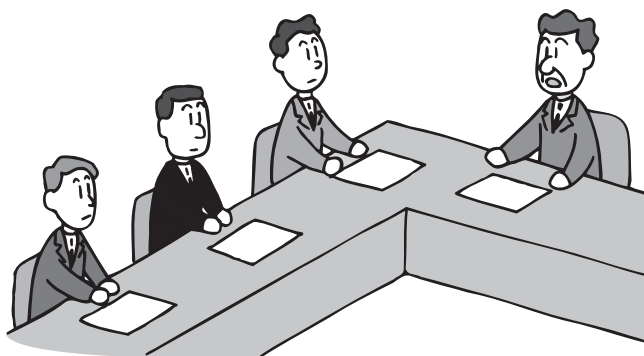
◆宇土市議会政務調査費の交付に関する条例の一部改正

地方自治法の改正に伴い、条例の改正を行うもの。
・施行日 地方自治法の一部を改正する法律附則第1条ただし書に規定する日

【主な改正内容】

・「政務調査費」を「政務活動費」に改める。

・政務活動費を充てることができる経費の範囲を調査研究費、研修費、広報費、広聴費、要請・陳情活動費、会議費、資料作成費、資料購入費、人件費及び事務所費と定める。



◆宇土市部設置条例の一部改正

機構改革に伴い、条例の改正を行うもの。
・施行日 平成25年4月1日

【主な改正内容】

・総務企画部を総務部と企画部に分割する。
・市民環境部所管の消防防災関係業務を総務部に移管する。
・総務企画部所管の観光物産関係業務を経済部に移管する。

◆宇土市勤労青少年ホーム条例の廃止

勤労青少年ホームの使用人数及び登録者数の減

少により、事業に係る社会的資源は充足していると考えられ、既存施設をより有効的に活用するため、条例を廃止するもの。

・施行日 平成25年4月1日

予 算

◆平成24年度宇土市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)

歳入歳出それぞれ8,284万1千円増額し、総額を50億1,579万1千円とする。内容は、療養費負担金見込みの増額及び事業費確定に伴う過年度返還金の増額補正。

◆平成24年度宇土市簡易水道事業特別会計補正予算(第2号)

歳入歳出それぞれ150万円増額し、総額を9,362万3千円とする。内容は、漏水等修繕料見込みの増額補正。

◆平成24年度宇土市介護保険特別会計補正予算(第2号)

歳入歳出それぞれ1,398万3千円増額し、総額を29億5,915万4千円とする。内容は、人件費の補正及び介護報酬過年度返還金の増額補正。

◆平成24年度宇土市漁業集落排水施設整備事業特別会計補正予算(第3号)

歳入歳出それぞれ100万円減額し、総額を1,851万6千円とする。内容は、過年度分消費税確定に伴う減額補正。

その他

◆指定管理者の指定について

指定管理者を指定する必要があるため、地方自治法第244条の2第6項の規定により、議会の議決を求めるもの。

〈管理を行わせる公の施設の名称〉

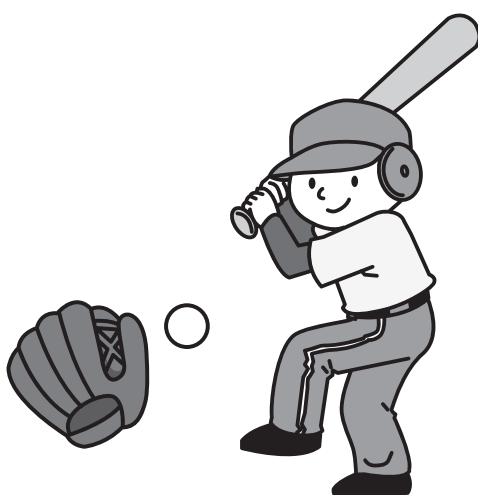
宇土市社会体育施設(宇土市運動公園、宇土市民体育館、宇土市武道館、宇土市スポーツセンター)

〈指定管理者となる団体の名称〉

NPO法人うとスポーツクラブ

〈指定の期間〉

平成25年4月1日から平成30年3月31日まで。



人 事

◆宇土市教育委員会委員の任命

(任期4年)

岩村 俊明 氏(新任)

長尾 忠 氏(新任)

網田レトロ口館条例の制定

網田駅は明治34年に開設された文化的に変遷のある県内最古の木造駅舎です。

この網田駅を観光振興と住民交流、まちづくり活動の拠点とするために条例を制定したものです。

今後、駅舎の改修工事を行い、交流スペースを設けて市民に開放することとしています。

【主な制定内容】

・名称及び位置 網田レトロ口館

・宇土市下網田町2097番地2

・使用料 1時間につき1,000円

・施行日 平成25年4月1日



ピックアップ

◆平成24年度宇土市一般会計補正予算(第6号)

歳入歳出それぞれ3億5,717万4千円を増額し、総額を146億8,266万円とする。

費目 (歳出概要)	予算額 (千円)	歳出の主なもの () 内は補正額【単位：千円】
議会費	12	人件費補正 (12)
総務費	17,276	無線システム普及支援事業 (4,457)、庁舎営繕委託料 (4,700)、JR網田駅を核としたまちづくり事業 (5,001)
民生費	93,490	乳幼児等医療費助成事業経費 (15,000)、扶助経費 (31,681)、国保財政補てん繰出金 (35,420)
衛生費	1,854	住宅用太陽光発電システム設置費補助金 (2,400)
農林水産業費	187,317	青年就農給付金事業補助金 (3,000)、農業体質強化基盤整備促進事業 (181,640)
商工費	△978	雇用促進奨励金 (△1,000)
土木費	46	人件費補正 (46)
消防費	9,933	消防団員出動報償金 (3,888)、非常備消防一般経費 (5,801)
教育費	48,224	花園公民館駐車場整備事業 (28,000)、市民体育館耐震改修事業 (9,841)

平成24年 第4回 宇土市議会定例会 一般質問一覧表

発言順	氏名	質問事項(大項目)	掲載ページ
1	九谷 新吾	(1)コミュニティバス「行長ちゃん号」の試行運行と、のんなっせ号について (2)宇土駅東口側大型複合店舗進出にともなう周辺道路(国道・県道・市道)整備について	5
2	野口 修一	(1)農林水産業の活性化(2)健康生きがいづくり (3)市長manifestoの進行管理について(4)地域発信	6
3	檜崎 政治	(1)学校給食における米の消費拡大について (2)介護サービスの充実強化について(3)子育て支援の拡充を	7
4	中口 俊宏	(1)紫陽花でまちづくり事業について(2)消費生活センター事業について(3)安全・安心なまちづくりについて	8
5	芥川 幸子	(1)教育行政について(2)福祉行政について(3)省エネ対策について	9
6	福田 慧一	(1)特定健診・がん検診について(2)就学援助制度の充実を (3)介護保険について(4)小中学校のエアコン設置について	10



コミュニティバス「行長しちゃん号」

ニーズ調査と検証,そして官民協同で利用促進を



(愛市同友会)
九谷新吾 議員

コミュニティバス「行長しちゃん号」と「のんなっせ」の試行運行について

問 運行にあたり具体的なマーケット調査について。生活交通ネットワーク計画の作成委託料及び運行経費(年間)また、採算ライン(目標値)の設定について。

答 計画作成委託料は462万円、市内2千世帯及び各地区嘱託会長へのアンケート調査、民生委員やバス・タクシー事業者へのヒアリング調査を行い、試行運行地域の地元説明会を行っている。

バスと乗合タクシーの年間運行経費は、バスが約920万円、乗合タクシーが約800万円と試算しており、国庫補助金と運賃収入、市の負担額が財源になる。3つの財源のうち国庫補助金と運賃収入は直接バス事業者とタクシー事業者に入る制

度になっている。試算ではバスが収支率25%の場合で、運賃収入230万円、国庫補助金300万円、市負担額390万円となる。収支率が10%だった場合は、運賃収入90万円、国庫補助金370万円、市負担額460万円となる。

乗合タクシーは、収支率25%の場合で、運賃収入200万円、国庫補助金300万円、市の負担額は300万円。収支率10%の場合、運賃収入80万円、国庫補助金360万円、市の負担額は360万円と試算している。

(総務企画部長)

問 行長しちゃん号と、のんなっせの利用状況について。

答 バスは1日15便運行している。10月8日から11月7日までの1ヶ月間のバスの総運行回数 は397回で、利用者総数は443人となっている。

乗合タクシーは、網田、網津、花園で週1回、計4便、1ヶ月間で20便を運行しており網田地

区は2人、網津地区は13人、花園地区の11人で合計利用者数は26人。

(総務企画部長)

問 運行後の課題協議について。

答 社会実験で試行運行期間を設けており、試行期間中に利用者ニーズの情報収集に努め色々な課題・問題点を整理し今後の運行見直しに備えていく。

(総務企画部長)

宇土駅東口側大型複合店舗進出にともなう周辺道路(国道・県道・市道)整備について

問 松原交差点渋滞解消について23年6月議会で質問を行ったがその後の経過について。

答 平成23年9月と24年9月に松原交差点から宇土シティ交差点まで約900mについて、2車線化の要望書を熊本県へ提出している。国道57号線より松原交差点の渋滞緩和についても、平成24年1月に国土交通省、熊本河川国道事務所へ渋滞緩和の要望書を提出している。

(建設部長)



第3回健康生きがい学会(曾野綾子氏講演風景)

一次産業の活性, 健康生きがい, 市長マニフェスト

農林水産業の活性化



(無所属)

野口修一 議員

健康生きがいづくり

問 農業は市の一次産業で最も重要と思う。中山間地の網津、網田の例をあげて実情報告を。
答 網引地区を例に、中山間地域等直接支払制度が平成12、16年、17、21年、平成22、5年間実施される予定。耕作放棄地の防止活動支援に170万円。また林業支援は、間伐作業助成36万1千円。林道の舗装工事補助100万円。今後も国県の施策を活用し収入増を図る。

問 民間の支援事業だが、間伐促進と地域活性化が目的の「木の駅プロジェクト」を知っているか。
答 「木の駅」の活動は、間伐促進を目的に民間助成を基金として、「形質の悪く市場価値の低い丸太材で晩酌を」を合い言葉に、間伐材を市場よりも少し高く買い、地域で流通する商品券(地域通貨)で支払う。今後の広がりに注目して行く。

(経済部長)

問 10月20・21日と佐世保市で開催された「健康生きがい学会」で、高齢者の筋力トレーニングに奨励「貯筋」と、高齢者の友達づくり「友貯」を学んだ。市では、どんな活動があるか。
答 NPO法人宇土スポーツクラブが、24年9月から「貯筋運動プロジェクト」を実施53名が参加。テレビでも取り上げられ、市でも取り組んで行きたい。また自治公民館での「お元気クラブ」等の活動を地域と協力し進める。

(健康福祉部長)

市長マニフェスト実施状況

問 市長マニフェストの各部分の進行管理はどうなっているか。
答 市長マニフェストの進行管理は、企画課が年度当初4月に各事業所管課に達成状況を照会。達成状況は「完了または達

成」、「ほぼ達成または取組中」、「二部実施または準備中」、「やや遅延」、「遅延または中止」5段階で評価し、うと広報5月に掲載している。

(総務企画部長)

ご当地ナンバープレート

問 市長マニフェストは、達成状況、市民満足度も含め、公開で意見交換が必要と思う。定期的な報告会をしてはどうか。
答 7月25日宇城青年会議所主催で、「ローカルマニフェスト検証会」が開催され、達成状況や私の思いを述べた。今後も積極的に様々な機会を利用して意見交換をして行く。(市長)

問 神戸市で原付バイクに神戸ナンバーがデザインされたナンバープレートがあった。宇土市で検討してはどうか。
答 全国74地域、県内では3市町で導入しているが、導入済自治体でも未だ十分な検証が行われておらず「普通のナンバープレートが良い。」など一部否定的な意見を聞くので、慎重に検討する。

(市民環境部長)



学校給食の風景

こども医療費助成対象を小学3年生から6年生へ拡大

子育て支援の拡充を



(無所属)
榎崎政治 議員

問 子育て支援少子化対策、定住対策の一つとして、現在小学校3年生までであるこども医療費の助成を小学校6年生まで、更には中学校3年生まで拡充することはできないのか。

答 人口減少に歯止めをかけ、人口を増やしていくためには、子育て支援の充実は欠かせない施策であると考えている。現在、平成25年度からこども医療費助成制度の対象を、小学校6年生まで拡大するよう調整を行っており、3月議会に提案予定である。(市長)

問 花園地区では、多くの児童が地元の保育所に入らず、希望待機児童もいると聞いているが、市はどのような取り組みをしているか。

答 受入児童を増員するために定員の増員・施設の増築や分園・

保育所の新設について、先月、宇土市次世代育成推進協議会において、次世代育成支援行動計画の見直しを承認いただいた。

また、協議会の承認後、花園地区内の2つの保育所を含む市内保育所6園を訪問し、受入定員の見直しについて相談している。

希望する保育所に誰でも入所できるように、関係団体との協議をしながら希望待機児童の解消を図っていきたいと考えている。(健康福祉部長)

介護サービスの充実強化について

問 一人暮らし、高齢夫婦のみの世帯の増加や認知症の方の増加を踏まえた生活支援サービス家族介護慰労事業では、要介護4・5の方を在宅で介護されている方へ年間12万円の在宅介護手当を支給しているが、在宅

介護手当を要介護3の方への拡大はできないのか。

答 特に、要介護3で認知症の方の家族の介護にかかる負担は大きく、在宅介護を推進していることから、支援が必要になっていると感じている。現在、181人の方が要介護3の認定を受けておられる。ご家族の負担軽減につながるよう、在宅介護手当の要介護3の方までの支援拡大に向けて、支給要件等の具体的な検討を行っていきたいと考えている。(市長)

学校給食における米の消費拡大について

問 学校給食における米の消費拡大、地産地消、食育、食の安全の観点から米飯給食を増やすことはできないか。

答 今後、保護者にも米飯の長所や米の消費拡大・地産地消の重要性等を御理解いただき、米飯給食を増やす方向で検討していく。また、給食費の値上げにつながらないよう努力する。(教育長)



轟御殿に咲く市の花「紫陽花」

市の花「紫陽花」でまちづくり

市の花「紫陽花」で
まちづくりについて



(無所属)

中口俊宏 議員

たコンテンツという形で開催を検討したいと考える。(市長)

消費生活センター
業について

問 消費生活センター事業は、本年度で補助金が打ち切りとなることであるが、消費生活センターの相談業務等は益々必要性が高まっており、市単独でも事業を継続すべきであるが、今後の対応について質問する。

答 消費生活センター業務は、地方消費者活性化基金を活用していたが、本年度で終了する。来年度からは、地方消費者活性化交付金が創設される予定であるが現在未定である。市としては、重要な業務であり、今後とも継続することとしている。事業の運営方法は、業務を委託するか市独自に行うかは今後検討する。(経済部長)

本網津変則交差点の
改善対策について

問 県道と市道が接する本網津変則交差点は、地域の方が宇土・熊本方面へ通勤、買い物及び病院等に利用する主要道路であり、また宇土方面からは、あじさいの湯に通じる道路である。同所は坂道で高低があり、見通しが悪く危険な交差点であり、地元からも改善の要望があっているが、今後の対策について質問する。

答 今後の予定は、関係機関と交差点協議の内容に基づき設計を行い、そして地元の方及び地権者等と協議や用地交渉を行い、了解が取れ次第交差点及び道路拡幅の整備に着手したいと考えている。なお、交差点改良や道路拡幅が完了するまでは暫定措置としてカーブミラーの設置位置や停止線の位置等安全性が向上するよう関係機関と再度点検し安全対策を推進する。(建設部長)

問 市の花である紫陽花をメインとした世界の紫陽花でまちづくり実行委員会による「世界の紫陽花でまちづくり事業」が、昨年度で終了した。愛好者や各団体では、紫陽花が市の花であることから植栽して大事に管理されている。これまでのイベントを整理して必要な事業は市が中心となって継続すべきである。その中で、「紫陽花」の鉢植えや植栽についてコンテンツを実施するなどまちづくりに活用したらどうか。

答 紫陽花は、市民の多くの方が大事に育てておられ、コンテンツを開催することにより、市の花としての愛着と周知が高まるものと考えられる。また観光客の回遊性を高めるためにも、個人や団体が管理されている紫陽花のスポットや鉢植えを対象とし



バリアフリー化された浴室

住宅改修費・福祉用具購入費に負担の軽減を

教育行政について



(公明党)

芥川幸子 議員

問 本市の小・中学校における自殺予防教育について。

答 現在すべての教育活動を通じて、「命を大切にすることを育む教育」に取り組んでいる。今後この取組を推進していくとともに、自殺予防に関する教育についても、いじめ・不登校防止、家庭・地域との連携なども含めた具体的な取組について検討していく。
(教育部長)

福祉行政について

問 「命のバトン」(救急医療情報キット)を、必要とされる希望者へも配布をしたらどうか。
答 平成25年度から実施できるように準備をしていきたい。
(健康福祉部長)

問 骨髄を提供する側である、ドナーへの助成ができないか。

答 平成24年6月、全国青年市長会では、「骨髄移植ドナー登録者への休業補償制度」の推進を決議したところであり、本市でも制度化を図っていきたいと考えている。
(市長)

問 本市では、介護保険制度において、福祉用具購入や小規模な住宅改修のサービスを受ける時、いったん利用者が全額を負担して、あとで費用の9割が支給される償還払いの方法をとっている。利用者の負担を軽減するために、受領委任払い制度の導入についてどのように考えているのか。

答 今後は、住宅改修費・福祉用具購入費においては、いったん利用者が負担していた9割分を負担しなくて済むよう利用者からの委任に基づき、市が直接業者に支払う受領委任払いの方

省エネ対策について

法を検討し高齢者の負担の軽減に努めていく。(健康福祉部長)

問 「小型家電リサイクル法」の成立を受けて、レアメタル等の回収・リサイクルの取組について。

答 平成25年4月に施行された後、収集方法や回収品目の選定等、費用対効果も十分に調査して、分別収集の検討を行っている。
(市民環境部長)

問 公共施設や街路灯へのLED方式によるLED照明の導入について。

答 全体的な事柄として、LED照明採用については、歳出予算の節減という点から、その方法を検討していかねばならないが、省エネルギー対策、地球環境にやさしい市政の推進という点からも、検討を進めていくべきであると考えている。
(総務企画部長)



宇土市立鶴城中学校

小中学校の普通教室にエアコン設置で快適な教育環境を

就学援助制度の充実を



(日本共産党)
福田慧一 議員

問 長引く不況で賃金の切り下げなど、経済的に苦しい就学困難な児童・生徒が増えている。こうした児童・生徒に対し、教材費や給食費、修学旅行費など支援する就学援助制度がある。平成22年度から支援内容にPTA会費、生徒会費、クラブ活動費の3項目が追加された。本市でも早急に追加分を実施し制度の充実を図るべきだ。

答 県内他市の支給状況を見ると、本市を含め12市については、補助対象とされていない状況である。仮に、対象費目3項目を追加した場合、830万円余の新たな財政負担が生じることになる。今後、他市の動向を注視するとともに、財政的な負担等も踏まえ検討していく。

(教育部長)

介護保険制度について

問 平成24年4月からスタートした第5期の介護保険では、高齢者が自宅で受ける料理や洗濯などの生活援助の時間が短縮されたため、時間内に仕事が終わらないなどの問題が多い。利用者にも介護職員、事業所にも影響が出ている。時間短縮の撤回と介護職員の処遇改善など国に求めるべきだ。さらに所得の少ない人に対する保険料の軽減をすべきではないか。

答 介護報酬の改定により生活援助利用時間基準が短縮された。これに伴う影響について市内事業所のアンケート調査を行った。事業所の半数以上が改正前と同じ時間で提供している。事業所への収入等の影響は、半数以上の事業所が厳しくなっ

(健康福祉部長)

小中学校の普通教室にエアコン設置を

問 地球温暖化の影響で、夏場の猛暑が続き、熱中症などを訴える児童・生徒が出ている。小中学校の普通教室にエアコンを設置し勉強に集中できる環境を作るべきだ。すでに人吉市、菊池市では設置されている。

答 最近の気温の上昇等からして、初夏から秋まで小中学校の学習環境は大変厳しいものがあることは認識している。エアコンの整備は、学習環境の改善により学習効果が上がると思われるが、難しいのは財政面である。今後、御提案の趣旨を踏まえ、国の補助金等の活用も模索しながら検討していく。

(市長)

総務市民

総務企画部・市民環境部・その他を所管



藤井慶峰委員長

論議されました主なものを報告いたします。

まず、非常時消防一般経費として計上されている非常時の備蓄品の内容についての質疑に対し、執行部から、市内5か所に備蓄倉庫を設置し、災害時の食糧を8千食程度備蓄する予定である。その他にも、避難所が体育館等の板張りが多いため簡易のエアーマットを用意するとの答弁がありました。それに対し、委員から、避難所生活が長期化した場合、プライバシーの問題が生じてくる。それに対応するため、ダンボールを利用した間仕切りを用意できるように市内のダンボール会社と提携し非常時に備えてはどうかという提案がありました。

し、委員から、網田レトロ館は、単に物産館としてではなく、御輿来海岸の干潟などの観光資源や網田文化をPRする発信地になってほしいという要望がありました。

その他にも、宇土市一般職の任期付職員採用等に関する条例の制定については、委員から、多様化・高度化に関する行政ニーズに対応するため専門的な知識・経験を持つ人材を弾力的・機動的に採用できるようにすることは公務の効率化かつ適正な運営に期待がもてるが、スポイルズシステムの運用と誤解されないためにも任期付職員の採用を行う場合は、明確な基準を設定すると共に疑義を抱かれないよう公平公正な運用に留意すること。

また、住宅用太陽光発電システム設置補助金として1kwあたり2万円、限度額8万円を交付しているが、経済効果を考慮し、好評であった住宅リフォーム助成事業と同様に商品券などのクーポン券で交付することを検討すること。などの意見がありました。

以上が、論議された主な内容であります。本委員会に付託を受けました議案については、全会一致で原案のとおり承認及び可決致しました。

経済建設

経済部・建設部・農業委員会を所管



芥川幸子委員長

論議されました主なものを報告いたします。

まず、委員から、議案第90号 宇土市水道事業布設工事監督者の配置基準及び資格基準並びに水道技術管理者の資格基準に関する条例についての質疑があり、執行部から、現在の基準は水道法で規定されているが、市の単独工事については適用させることが難しかった。今回、条例で定めることにより、市独自の監督者を設けることができることとなったため、条例を制定するものである。との答弁がありました。これに対し、委員から、資格者が担当課からいなくなるような人事異動等については、十分に注意するように要望がありました。

次に、議案第95号 平成24年度宇土市一般会計補正予算(第6号)の中で、委員から、青年就農給付金事業補助金についての質疑があり、執行部から、農業の後継者不足を解決

するため、45歳未満の若い世代の就農を後押しする施策で、当初、市が見込んでいたより、対象者が多かったため、増額補正するものであるとの答弁がありました。

次に、議案以外として、委員から、来年度の機構改革で、水道課と下水道課を統合し、上下水道課を新設する予定となっているが、統合に関して問題はないかとの質疑があり、執行部から、終末処理場の管理について、現在は職員と委託業者の間で密に連絡・連携ができていますが、新しい上下水道課の事務所は市役所本庁舎になるため、終末処理場との連絡体制をどのようにとるかが課題だと考えているとの答弁がありました。

次に、委員から、本委員会所管で、企業誘致と農業経営の2人のアドバイザーを雇用しているが、専門職であるから、指導監督をしつかり行い、目に見える実績を上げるようにしてもらいたいとの意見がありました。

以上が、論議された主な内容であります。本委員会に付託を受けました議案については、全会一致ですべて原案のとおり承認及び可決致しました。

文教厚生

健康福祉部・教育委員会を所管



中口俊宏委員長

論議されました主なものを報告いたします。

国保財政補てん繰出金について、委員から「23年度の基準外繰出金の額、並びに来年度の法定外繰出金はいくらか」との質疑があり、執行部から「23年度の基準外繰出金は、約1億5千万円程度であった。また、25年度については基準外を約3億円と予定している。」との答弁がありました。それに関して、委員から「国保は保険料を値上げしたのに効果が表れていない。税率の改正をしたのに、法定外繰出について増額をするのか」との質疑があり、執行部から「今の経済状況下では、所得が伸びず、所得割が減少している状況です。」との答弁がありました。

次に、花園公民館駐車場の整備について、執行部から「7月上旬の竣工を予定している」との説明があり、委員から「駐車場として整備するだけで、7月までかかるのか」と、また、「駐車場がないと非常に不便であるので、竣工を早めることはできないのか」との質疑に対し、執行部から「工期を要する一番の原因は車が通れる橋を整備することによる。そのため工事を委託している土木課と協議をおこない検討する」との答弁がありました。

次に市民体育館等の社会体育施設の指定

管理者について、委員から「事前の説明会では、6社が出席しているとのことであるが、実際に申請をしたのは1社にとどまっている。指定管理者になるための要件や条件が厳しすぎるのでは」との質疑があり、執行部から「参考のため各社に聞き取りを行ったところ、直接そのような意見は挙げられなかったが、現在の指定管理者以上にコスト削減を行うのは難しいとの意見や、現在のNPO法人うとスポーツクラブが、地域クラブとして発展、また地元で強く根付いているので、それ以上に地域スポーツを推進していくのは難しいと考えたなどの意見があった。」との答弁がありました。

また、市民体育館耐震改修事業について、委員から「工事期間の4月から7月までは体育館側の駐車場は使用できないとの説明があったが、今でも、グラウンドや、テニスコートの利用者が運動公園側の駐車場スペースだけでは足りずに、体育館側を利用している状況であるが、駐車場についてはどのような対策を講じるのか」との質疑があり、執行部から「運動公園側の駐車場を新たに30数台分拡張した。また、体育館前の駐車場についても、工事内容によって臨機応変に対応し、できる限り使用できるようにしていく。」との答弁がありました。

これに関連して、別の委員からは、工事と事故は関連性が非常に強い。事故が起これば非常に大変であるため、その件に関する現場管理者と綿密に打ち合わせをするようにとの意見がありました。

以上が、論議された主な内容であります。本委員会に付託を受けました議案は全会一致で原案のとおり全て可決いたしました。

地域高規格道路促進等対策特別委員会



浜口多美雄委員長

まず、要望活動について、ご報告いたします。去る9月26日に九州地方整備局及び熊本河川国道事務所、11月20日には、地元選出国会議員及び国土交通省本省に対し、宇土市の現状と課題を説明し、津波発生時に周辺住民が地域高規格道路に避難できるように整備することを追加した6項目の重点要望事項についての説明を申し上げ、熊本天草幹線道路の整備促進と所要の予算額の確保をお願いしてまいりました。

続きまして、去る12月5日、執行部出席のもと本委員会を開催し、現在までの取り組み状況について、執行部から説明がありましたので、ご報告申し上げます。

まず、「熊本・宇土道路」の用地取得の状況について、宇土市側は、面積ベースで600㎡増、0.6%の伸び率で、計画面積に対する取得面積比率は、98.7%となつています。また地権者ベースでは、1人増、1.1%の伸び率で、地権者数に対する購入済者比率は、92.1%となつています。なお、熊本市側では、面積ベース、地権者ベースともに進捗はあつていないが、取得予定地が一部外れたことにより、購入未済者数が8人から1人減り、7人になつています。

工事の状況については、前回の報告以降、新たな工事は発注されておらず、引き続き、平成23年度予算の繰越工事として、宇土市側で3件、熊本市側で1件の地盤改良工事が行われ、平成24年度予算の工事として、宇土市側で地盤改良工事が1件行われており、熊本市側の工事については入札準備中である。

宇土道路については、水文調査、これは水位や水質等の調査になりますが、その準備が行われている。

以上の報告を踏まえ、委員会で論議されました主な内容をご報告いたします。まず、委員から、今年度は「熊本・宇土道路」の当初予算が6億円と少なかったが、補正予算は付いていないのかとの質疑があり、執行部から、現在のところ情報は入っていないとの答弁がありました。これに対し、委員から、これまで当初予算が少ないときなどは、補正予算が付いて一定の予算額が確保できていたのに、再度確認をするようにとの要望がありました。執行部から、「熊本・宇土道路」については、現在、平成23年度繰越予算での工事が進行中で、本年度予算での工事は一部しか行われていない状況であるので、その影響も考えられるが、質問があつた補正予算については再度確認を行う、との答弁がありました。

最後に、衆議院議員総選挙が終わり、新たな体制による国会運営がスタートしましたが、当委員会としましては、引き続き、熊本・天草幹線道路の必要性を訴え、1日も早い全線開通を目指して、今後とも頑張りたいと思っております。

平成24年 第4回宇土市議会定例会議決結果一覧

【市長提出議案：平成23年度決算】

議案番号	件名	議決の結果
第56号	平成23年度宇土市一般会計歳入歳出決算の認定について	原案認定
第57号	平成23年度宇土市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	〃
第58号	平成23年度宇土市簡易水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について	〃
第59号	平成23年度宇土市北段原土地区画整理事業特別会計歳入歳出決算の認定について	〃
第60号	平成23年度宇土市奨学基金特別会計歳入歳出決算の認定について	〃
第61号	平成23年度宇土市公共下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について	〃
第62号	平成23年度宇土市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	〃
第63号	平成23年度宇土市漁業集落排水施設整備事業特別会計歳入歳出決算の認定について	〃
第64号	平成23年度宇土市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	〃

【市長提出議案】

番号	件名	付託委員会	議決の結果
第81号	専決処分の報告及び承認を求めることについて 専決第13号 和解について	経済建設	原案承認
第82号	専決処分の報告及び承認を求めることについて 専決第14号 平成24年度宇土市一般会計補正予算(第5号)について	総務市民	〃
第83号	宇土市一般職の任期付職員の採用等に関する条例について	総務市民	原案可決
第84号	宇土市議会政務調査費の交付に関する条例の一部を改正する条例について	総務市民	〃
第85号	宇土市暴力団排除条例の一部を改正する条例について	総務市民	〃
第86号	宇土市部設置条例の一部を改正する条例について	総務市民	〃
第87号	網田レトロ館条例について	総務市民	〃
第88号	宇土市勤労青少年ホーム条例を廃止する条例について	経済建設	〃
第89号	宇土市下水道条例の一部を改正する条例について	経済建設	〃
第90号	宇土市水道事業布設工事監督者の配置基準及び資格基準並びに水道技術管理者の資格基準に関する条例について	経済建設	〃
第91号	指定管理者の指定について(宇土市社会体育施設)	文教厚生	〃
第92号	宇土市道路線の廃止について	経済建設	〃
第93号	訴えの提起について	文教厚生	〃
第94号	宇城広域連合の処理する事務の変更及び規約の一部変更について	総務市民	〃
第95号	平成24年度宇土市一般会計補正予算(第6号)について	総務市民 経済建設 文教厚生	〃
第96号	平成24年度宇土市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)について	文教厚生	〃
第97号	平成24年度宇土市簡易水道事業特別会計補正予算(第2号)について	経済建設	〃
第98号	平成24年度宇土市奨学基金特別会計補正予算(第2号)について	文教厚生	〃
第99号	平成24年度宇土市公共下水道事業特別会計補正予算(第2号)について	経済建設	〃
第100号	平成24年度宇土市介護保険特別会計補正予算(第2号)について	文教厚生	〃
第101号	平成24年度宇土市漁業集落排水施設整備事業特別会計補正予算(第3号)について	経済建設	〃
第102号	平成24年度宇土市水道事業会計補正予算(第2号)について	経済建設	〃
第103号	宇土市教育委員会委員の任命について		原案同意
第104号	宇土市教育委員会委員の任命について		〃

【議員提出議案】

番号	件名	議決の結果
発議第7号	宇土市議会委員会条例の一部を改正する条例について	原案可決
発議第8号	宇土市議会会議規則の一部を改正する規則について	〃
発議第9号	消費税増税に反対する意見書	〃
発議第10号	改正介護保険制度の充実に関することを求める意見書	〃

【報告】

番号	件名
第17号	専決処分の報告について 専決第12号 訴えの提起について

【請願・陳情】

	受理番号	陳情の件名	付託委員会	議決結果
請願	平成24年 2	消費税増税に反対する意見書の提出を求める請願	総務市民	採択
	平成24年 6	安全・安心の医療・介護実現のための夜勤改善・大幅増員を求める陳情書	文教厚生	継続審査
陳情	平成24年 7	改正介護保険制度の充実に関する陳情書	文教厚生	採択
	平成24年 8	国民健康保険財政への国庫負担割合を増やすことを求める陳情書	文教厚生	継続審査
	平成24年 9	平成25年度税制改正に関する提言について	総務市民	採択

市議会からのお知らせ

市議会のホームページで、本会議(定例会・臨時会)の会議録を公開しています。

【アドレス】

<http://www.city.uto.kumamoto.jp/>

本会議の会議録(冊子)は、市情報公開コーナー(市役所1階ロビー)、市立図書館で閲覧できます。

なお、平成24年第4回定例会の会議録は、平成25年第1回定例会以降に閲覧可能です。

◎生中継(ライブ放送)

議会開会中、本会議(定例会・臨時会)の様を生中継で市役所1階ロビー・網津支所・網田支所に設置されているテレビモニターでご覧になれます。

【お問い合わせ】

市議会事務局 0964-22-1111 内線2611



本会議場

議会を傍聴しませんか

市議会では市民の皆さんの生活に密着した問題が審議されています。身近な市政を知るために、ぜひ一度傍聴してみませんか。

- 議会傍聴席は市役所議会棟2階の議場内にあります。傍聴席入り口で必要事項をご記入のうえ、席へお着きください。また、委員会傍聴については議会事務局にて受付をお願いします。
- 本会議の傍聴席の定員は50人です。
- 委員会傍聴については、委員会室の広さ・内容等により人員を制限する場合がありますのでご了承ください。
- 原則として、本会議、委員会は午前10時開会ですが、議事の都合で変更する場合があります。
- 本会議傍聴の際は、傍聴席入口に掲示の注意事項をお守りください。



委員会室

編集後記

最近読んだ本に、こう書かれていた。

「笑う」という言葉は、古くは「咲^{わら}う」とも書いたという。笑顔は、人間が咲かせることのできる花である。お金があってもなくても、家族にも、友人にも、惜しみなく贈ることのできる幸せの花が笑顔である。

我がまちが、「笑顔」咲き薫る市民であふれますように…。

編集委員

委員長／浜口多美雄 副委員長／芥川幸子
委員／藤井慶峰 委員／中口俊宏

平成25年 第1回定例会会期日程

3月5日	開会
6日	特別委員会
7, 8, 11日	代表質問・質疑・一般質問
12日	文教厚生委員会
13日	総務市民委員会
14日	経済建設委員会
21日	閉会



環境保護印刷の
水なし印刷で
印刷しています。

印刷/敷島印刷株式会社